

## 今週（6月13日から6月17日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期間が切り替わる週となった。週前半の13、14日の無担O/N加重平均レートは、▲0.03%台前半で落ち着いて推移したものの、15日の積み最終日は、地銀勢に加え一部都銀も取り上がる動きを見せた事で▲0.023%まで上昇となった。新しい積み期間となった16日以降は、新型コロナオペの期落ちを控え、調達に慎重な動きも見られ、レート水準は▲0.05～▲0.03%近辺まで低下となった。

ターム物は、新しい積み期間となる16日スタートのショートタームを中心に、▲0.035～▲0.03%での出会いが散見された。これまで新型コロナオペの残高を背景に、調達サイドであった一部の邦銀が、運用サイドに回る場面も見られてきている。

日銀当座預金残高は530兆円台後半で始まり、連日行われた国債買入や15日の年金払いによって550兆円台前半まで増加となった。

6月16日～17日に開催された日銀金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

今週の指値オペは、長期金利が上昇する中、多くの応札が見られた。

13日は、10年利付国債366回の買入利回りは0.250%であった。オペには15,337億円の応札が見られた。

14日は、10年利付国債366回の買入利回りは0.250%であった。オペには22,126億円の応札が見られた。

15日は、指値オペが10時10分に2本実施された。新たに、10年利付国債356回を対象としたオペが追加された。1本目の、10年利付国債366回の買入利回りは0.250%であった。オペには5,443億円の応札が見られた。2本目の、10年利付国債356回の買入利回りは0.250%であった。オペには7,212億円の応札が見られた。午後には、チーベスト銘柄の連続指値オペの実施予定が通知された。買入日程は6月16日～17日であり、必要に応じ、買入日程の追加等を行うことがあると公表された。

16日は、指値オペが2本実施された。1本目の、10年利付国債366回の買入利回りは0.250%であった。オペには6,805億円の応札が見られた。2本目の、10年利付国債356回の買入利回りは0.250%であった。オペには533億円の応札が見られた。

17日は、指値オペが10時10分に2本実施された（政策決定会合2日目であるため、応募締切は11時00分であった）。1本目の、10年利付国債366回の買入利回りは0.250%であった。オペには17,349億円の応札が見られた。2本目の、10年利付国債356回の買入利回りは0.250%であった。オペには250億円の応札が見られた。12時30分には、再度指値オペが2本実施された（応募締切は15時30分であった）。1本目の、10年利付国債366回の買入利回りは0.250%であった。オペへの応札は見られなかった。2本目の、10年利付国債356回の買入利回りは0.250%であった。オペへの応札は見られなかった。夕方には、チーベスト銘柄の連続指値オペが当面の間実施されることが公表された。

### ●レボ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.15～▲0.08%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、2Y430～437、5Y145～151、10Y355～366、20Y170～179、30Y65～74、40Y10～15などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、日銀の国債買入れによる品薄感が波及してか、全ゾーンで需給の改善が見られ、堅調に推移する展開となった。14日に実施された6M物の入札はしっかりとした結果になり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。15日に実施された1Y物の入札はやや強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。16日に実施された3M物の入札は強めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは強含んで推移した。

### ●CP市場

今週のCP市場は、15日・20日の発行集中日があり、電気機器、小売業、陸運等の複数業態で大型発行が見られた。週間の発行総額1兆5,300億円に対して、償還総額9,400億円と発行超のマーケットとなった。市場残高は15日に27兆円台に達し、16日には27兆2,000億円程度となるなど過去最高を連日で更新した。

発行レートについては、引き続き0%近傍で決着しており、大型案件や6月末までの期内物についても目立った動きは見られなかった。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/13 (月)	26,987.44	0.250	135.00	△ 0.033	△ 0.085	5,380,100
6/14 (火)	26,629.86	0.250	134.12	△ 0.034	△ 0.091	5,402,500
6/15 (水)	26,326.16	0.250	134.99	△ 0.023	△ 0.100	5,493,200
6/16 (木)	26,431.20	0.250	134.26	△ 0.042	△ 0.151	5,511,200
6/17 (金)	25,963.00	0.220	133.20	△ 0.040	△ 0.162	5,533,000

# 来週（6月20日から6月24日）の短期金融市場動向

## ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/20 (月)	月例経済報告（内閣府）				
6/21 (火)		5Y 25,000億円 6/22発行			5月の米中古住宅販売
6/22 (水)	金融政策決定会合議事要旨(4月27・28日分 8:50)				5月の英消費者物価指数
6/23 (木)		20Y 12,000億円 6/24発行			
6/24 (金)	全国信用金庫大会において両宮副総裁講演 5月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 5月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	TB3M 56,000億円 6/27発行			5月の米新築一戸建て販売件数

## ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/20 (月)	100	69,800	69,900	国債買入 国債補充 CP買入 社債買入 貸出増加支援		17,500 26,500 ▲100 ▲600 ▲12,300	77,300 46,300	147,200	国債大量償還・利払い 機関貸付回収 TB3M発行▲56000償還55600 TB1Y発行▲35000償還32200 5Y償還11000 10Y償還49700 20Y償還12200 エネルギー対策借入▲8000期日8000
6/21 (火)	▲1,000	3,000	2,000				0	2,000	
6/22 (水)	▲1,000	▲28,000	▲29,000	全店共通	▲4,000		▲4,000	▲33,000	5Y発行▲25000
6/23 (木)	▲1,000	2,000	1,000				0	1,000	
6/24 (金)	▲2,000	3,000	1,000				0	1,000	20Y発行▲12000
週間合計	▲4,900	49,800	44,900	—	9,500	63,800	73,300	118,200	

6/20は日銀予想、6/21以降は当社予想

## ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積みの序盤ではあるものの、調達サイドの慎重姿勢が継続されると思われ、レート水準は引き続き▲0.05～▲0.03近辺での推移となろう。

レポ市場は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、レート水準は引き続き横ばい圏で推移すると見られる。

短国市場は、24日に3M物の入札実施が予定されている。需給環境が改善している事から、短国買入オペ実施の有無は不透明である。

CP市場は、特段のイベントが無い中、四半期越え物の発行がどこまで膨らむか、動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、22日に金融政策決定会合議事要旨(4月27・28日分)、24日に5月の消費者物価指数、海外では、22日に5月の英消費者物価指数、24日に5月の米新築一戸建て販売件数などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等を考慮頂く必要があります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。